

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022008

プロジェクト名 佐渡島における未利用資源の教育・観光・文化への転用を目的
としたプロジェクトファンディング

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、新潟県佐渡市において未利用な環境を資源化することで地域の魅力を発掘するとともに、島内外の交流や賑わいの創出を図り、島の魅力を行政と連携して周知することを目的とする。本プロジェクトは「プロジェクトファンディング」と題することで、地域住民にとっては身近でも見逃したり見出されてこなかったりした環境を、理系・文系の異なる専門の大学生の目を通して佐渡島の新たな交流や賑わいの創出に寄与するためのコンテンツを検討する。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトでは、佐渡島の新たな賑わい創出に向けた島特有の地域資源の発掘・活用のための取り組みとして、①姫津・相川羽田・達者地区地域猫の行動軌跡から学ぶ居心地の良いスペースの調査（2022年9月5日～9月10日、2022年11月19日～11月24日、**理工学部**）、②佐渡市における子供たちに対するコンテンツマーケットリサーチ（2022年11月30日～12月23日、2023年2月3日～2月5日、**商学部**）を実施した。

①では、各地域の皆様及び佐渡犬猫保護団体に協力をいただき、地域猫（人から食べ物を与られている猫。生態は野良猫と家猫の中間に該当し活動範囲は地域全体となる。）にGPSロガーを取り付け猫の行動を追跡した。その後、行動軌跡を分析し猫スケールでの地域の使い方や居心地の良い空間を見出した。その結果、猫が街中で好む圏域や活動に周期性の存在を窺えた。今後は、分析結果を建築計画へと発展させ、佐渡島の皆様や学内外での情報共有を行いたい。

②では、高校卒業と同時に本島へ移住してしまう背景を踏まえて、天地人サイエンスプロジェクトに会場した学生や保護者に対し、大学生としてどのような価値が提供できるかといったマーケットリサーチを行った。その結果、佐渡の自然や学生とのアクティビティに対し高い関心を持っていることが窺えた。今後は、現地でのイベントの参加や地元団体と連携を行うことで、来年度以降のコンテンツ提供に向けた計画を行いたい。

本プロジェクトは2学部の強みを活かし、佐渡島の未利用資源の抽出を行った。今後は、引き続き各学部の結果を共有することで、佐渡島の新たな交流や価値創造を図り、地域の人々も巻き込みながら、継続して地域貢献できる場を提供したい。

活動写真

